

## 飲酒問題がある人への簡易介入マニュアル（案）

### この冊子の目的

この冊子は、大阪府内において、アルコール依存症の疑いのある方をアルコール専門医療機関へスムーズにつなげることを目的に作成しました。一般の医療機関および精神科医療機関において、アルコール依存症の疑いのある方を診察した場合、どのようにスクリーニングし、診断をつけ、専門医療機関へ紹介するのかわかりやすくまとめてあります。本人だけでなく、家族の相談にもご活用ください。

### 専門治療機関の受診メリット

- アルコール依存症などについての知識と経験が豊かな専門的な医師から、診断や指導が得られる
- 外来通院でも回復支援が得られる
- 専門的な薬物療法やカウンセリングが得られる。
- 健康保険が適用される、自立支援法の対象になる場合には外来費用が軽減される。
- 専門的なプログラムがあり、問題の重要性がわかり、決断が強化される。
- 本人だけでなく、家族が支援を得ることができる
- 専門治療機関から多くの回復者のいる自助グループへのスムーズな参加ができる
- 一般医や産業医のこれまでの治療やサポートは引き続き受ける事ができる

## 1. SBIRTSの目的

SBIRTSは、簡易なスクリーニングにより、「危険な飲酒」や「アルコール依存症」を判定し、適切な指導のもとに、必要な場合には専門治療に繋げるものです。早期発見、早期治療によりアルコールによる心身への影響だけでなく、家庭生活や仕事への影響などの予防や解決を目的とします。短時間で、手軽に、病院や診療所、相談機関、介護機関、健診機関など多様な機関で実施可能です。

Screening	スクリーニング	「飲酒度」を「ふるいわける」
Brief Intervention	簡易介入	「危険な飲酒」患者には節酒を勧め、「乱用」や「依存症」患者には断酒を勧める。
Referral to Treatment	専門治療への紹介	専門治療の必要な患者には「紹介」を行う。
Self-help group	自助グループへの紹介	医療機関や健診機関のスタッフが自助グループへ紹介する

## 2. SBIRTSの対象者

◆該当するものをチェックします。1 から 3 にひとつでもチェックが入れば、フローチャートへ進んでください。

1. アルコールによる心身の影響がある

・飲酒に関わる病気【

】

・検査所見：γGTP ALT AST MCV 尿酸 中性脂肪 血糖 血圧

・臨床所見：顔や身体の傷跡 酩酊時の外傷 軟便 顔のむくみ 発汗 震え

・健診所見：メタボ症状 腹部エコーの異常

・精神症状：うつ病・パニック発作の受診歴 自殺を考えたことがある 物忘れ 不眠

寝酒の習慣 睡眠薬と飲酒の併用 朝から飲むことがある

※検査結果があれば添付

2. アルコールによる家庭生活や職業生活への影響がある

・家族関係の悪化：離婚や別居 お酒が原因でのめめ事 お酒に関する子どもからの苦情

・仕事への影響：欠勤や遅刻 職場で酒の臭い 能率の低下 ミス 事故

人間関係の悪化 失職

・飲酒上のできごと：飲酒運転 転倒・転落 救急車の利用 ケンカ

3. 健診の受診者

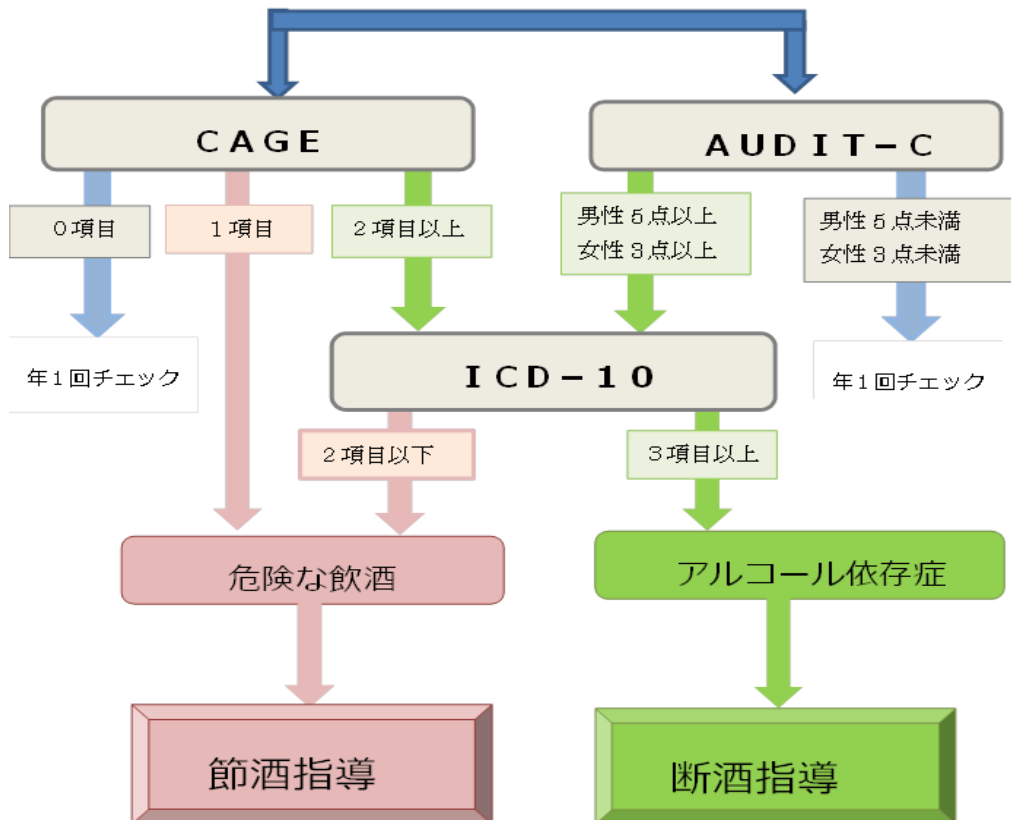
### 3. スクリーニングの概要について

#### CAGEかAUDIT-Cの選択

スクリーニングテストの特徴		
	CAGE	AUDIT-C (AUDITの最初の3項目)
目的	アルコール依存症のスクリーニング	危険な飲酒、アルコール依存症のスクリーニング
内容	4つの飲酒行動の有無を尋ねて、該当項目数を算定する	飲酒頻度、飲酒量、多量飲酒の頻度の3項目を尋ねて点数化し、合計得点を算定する
判別点	1項目以上: 危険な飲酒 2項目以上: アルコール依存症の疑い→ICD-10へ	男性5点以上、女性3点以上 : 危険な飲酒かアルコール依存症→ICD-10へ
長所・短所	長所: 短時間で実施可能、スタッフのサポートが不要 短所: 飲酒の量と頻度による危険度がわかりにくい	長所: 飲酒の量と頻度による危険度がわかりやすい 短所: ドリンク数の計算に時間を要する、スタッフのサポートが必要
適切な実施場所	時間に追われている機関、アルコール依存症の抽出や専門機関への紹介を意図する機関等: 救急、一般病棟・外来、相談室、保健所、健診機関等	比較的時間が取れる機関、危険な飲酒への指導を意図する機関等: 健診機関、かかりつけ医、専門医療機関等

### 4. フローチャート

CAGEもしくはAUDIT-Cのどちらかを選択。



## 5. スクリーニング

### CAGE – Ewing JAによる–

過去に次の経験がありましたか？

1. 飲酒量を減らさなければならぬと感じたこと . . . . . ある ない
2. 他人があなたの飲酒を非難するので、気にさわったこと . . . . . ある ない
3. 自分の飲酒について、悪いとか申し訳ないと感じたこと . . . . . ある ない
4. 神経を落ち着かせたり二日酔いを治すために「迎え酒」をしたこと . . ある ない

**判 定**

4項目の中で、該当する項目数

2項目以上 「アルコール依存症の疑い」 ⇒ ICD10へ

1項目 「危険な飲酒」 ⇒ 節酒指導が必要

0項目 「危険の少ない飲酒」⇒年1回チェックを

### AUDIT-C

		0点	1点	2点	3点	4点
1	あなたはアルコール含有飲料をどのくらいの頻度で飲みますか？	飲まない	月に一度以下	月に2～4度	週に2～3度	週に4度以上
2	飲酒するとき、通常どのくらいの量を飲みますか（以下ドリンクの目安）  日本酒 1合=2ドリンク ビール 大ビン1本=2.5ドリンク ウイスキー 水割りダブル1杯=2ドリンク 焼酎 お湯割り1杯=1ドリンク ワイン グラス1杯=1.5ドリンク	1～2 ドリンク	3～4 ドリンク	5～6 ドリンク	7～9 ドリンク	10 ドリンク 以上
3	一度に6ドリンク以上飲酒することがどのくらいの頻度でありますか	ない	月に一度未満	月に一度	週に一度	ほぼ毎日

**判 定**

3項目の合計点数

男性が、**5点以上**  
女性が、**3点以上**の場合

「危険な飲酒」又は「アルコール依存症」 ⇒ ICD-10へ

男性が、**5点未満**  
女性が、**3点未満**の場合

「危険の少ない飲酒」 ⇒年1回チェックを

## 6. 診断 (ICD-10)

CAGEが2項目以上、AUDIT-C 男性5点以上、女性3点以上の人は実施しましょう。

### ICD-10 アルコール依存症の診断基準 (WHO)

1. 飲酒したいという強い欲望、または強迫感がある……… <input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ 例：ちょっとした刺激で飲酒要求が非常に強くなる。 医師から、節酒、断酒を指示されて守ろうと頑張るが、守れない。 ダメとわかっている、飲酒運転を繰り返してしまう。 隠れてでも飲みたくなる。 仕事が終われば、待ちきれないように飲む。
2. 飲酒開始、飲酒終了、飲酒量のどれかのコントロールが困難である… <input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ 例：開始時間：朝から飲んでしまう。工作中でも飲み始めてしまう。 終了時間：次の日に支障が出るほど、遅くまで飲んでしまう。 飲酒量：量をコントロールしようとするが、抑えがたい飲酒要求のためできない。
3. 飲酒を中止または減量した時の生理学的離脱状態がある……… <input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ 例：手指の震え、発汗、不眠、吐き気、イライラ、幻覚、痙攣等の離脱症状があり、 その不快さを避けようとして飲酒する。 これらの症状が、飲酒を止めると出現するが、飲むと軽減する。
4. 飲酒の耐性のある（耐性：当初飲んでいた量より多く飲まないと酔えなくなる）…… <input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ 例：飲み始めの頃の1.5倍以上飲まないと、酔えない。
5. 飲酒のために他の楽しみや趣味を次第に無視するようになり、飲んでる時間が多くなったり、酔いから醒めるのに時間を要するようになる……… <input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ 例：飲酒中心の生活で、多様な暮らし方が出来ない。
6. 明らかに有害な結果が起きているのに、飲酒する……… <input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ 例：飲酒による臓器障がい、抑うつ気分状態、認知機能の障がいがある。 上記の心身の有害な結果があると分かっている、依然として飲酒する。

### 判定

6項目の中で、該当する項目数

3項目以上 「アルコール依存症」⇒ 断酒指導が必要

2項目以下 「危険な飲酒」⇒ 飲酒指導が必要

## 動機付け面接のポイント

スクリーニングを実施し、アルコール依存症の診断がついたら、専門医療機関や相談機関、自助グループへつなげましょう。つなげる際の面接ポイントです。

### Feedback : (フィードバック)

情報をきちんと患者に返す。

(例) 検査結果、臨床所見、診断結果等をきちんと伝え、患者に判断材料を提供する。

### Responsibility : (責任)

患者の自己責任、自己決定を尊重する。

(例) 入院か通院かの決定等。

### Advice : (アドバイス)

患者に指示、命令をするのではなく、アドバイスをする。意見は述べるが、対等な関係として患者の自己決定を尊重する。

### Menu : (メニュー)

選択肢を提示する。

(例) 入院や通院があるがどちらかにしますかなど。

### Empathy : (共感)

患者の苦労や悩みに共感しながら、訴えに耳を傾ける。

### Self-efficacy : (自己効能感)

患者が問題に取り組むことに自信が持てるように、チャレンジしたら出来る可能性がある伝える。

(例) 「あなたは立派に仕事や子育てもやってきたのだから、酒をやめることもやればできるよ」など

## 専門医療機関、相談機関、自助グループ

専門医療機関

相談拠点機関

自助グループ

一般社団法人

大阪府断酒会

( 072-949-1229 )

<http://oosakafudann.sunnyday.jp/>

AA 関西セントラルオフィス

( K C O )

( 06-6536-0828 )

<http://www.aa-kco.com/index.html>

御中	
<p><u>紹介理由</u></p> <p><input type="checkbox"/> 泥酔している</p> <p><input type="checkbox"/> アルコール関連疾患、または疑い</p> <p><input type="checkbox"/> アルコールによる外傷</p> <p><input type="checkbox"/> アルコール依存症の既往歴</p> <p><input type="checkbox"/> 本人や家族等の飲酒問題の訴え</p> <p><u>スクリーニング</u></p> <p><input type="checkbox"/> CAGE （ 項目）</p> <p><input type="checkbox"/> AUDIT-C （ 点）</p> <p><u>アルコール関連の所見や問題</u></p> <p><u>異常値</u></p> <p><input type="checkbox"/> <math>\gamma</math>GTP   <input type="checkbox"/> ALT   <input type="checkbox"/> AST</p> <p><input type="checkbox"/> MCV   <input type="checkbox"/> 尿酸   <input type="checkbox"/> 中性脂肪</p> <p><input type="checkbox"/> 血糖   <input type="checkbox"/> WBC   <input type="checkbox"/> T.Bil</p> <p><input type="checkbox"/> NH3   <input type="checkbox"/> その他（ ）</p> <p><u>離脱症状</u></p> <p><input type="checkbox"/> 発汗（寝汗） <input type="checkbox"/> 指の震え   <input type="checkbox"/> 下痢・軟便</p> <p><input type="checkbox"/> 不眠   <input type="checkbox"/> イライラ</p>	<p><u>関連問題</u></p> <p><input type="checkbox"/> うつ症状   <input type="checkbox"/> 自殺念慮   <input type="checkbox"/> 自殺未遂</p> <p><input type="checkbox"/> 物忘れ等   <input type="checkbox"/> 怪我が多い   <input type="checkbox"/> 暴言暴力</p> <p><input type="checkbox"/> 虐待   <input type="checkbox"/> 孤立、孤独</p> <p><input type="checkbox"/> 救急受診（ 回）</p> <p><input type="checkbox"/> 飲酒運転   <input type="checkbox"/> その他（ ）</p> <p><u>生活状況</u></p> <p><input type="checkbox"/> 家族形態：<input type="checkbox"/> 同居（配偶者   その他）</p> <p><input type="checkbox"/> 独居   <input type="checkbox"/> 別居（ ）</p> <p><input type="checkbox"/> キーパーソン：</p> <p><input type="checkbox"/> 職業：   <input type="checkbox"/> 無職・前職（ ）</p> <p><input type="checkbox"/> 経済問題</p> <p><input type="checkbox"/> その他</p> <p><u>専門医療機関へ紹介について説明</u></p> <p><input type="checkbox"/> 患者本人</p> <p><input type="checkbox"/> 家族等</p>
紹介元（機関名 _____ ）（担当者 _____ ）	

御中	
受診日・来所日（ ）	来所者【本人・家族（ ）その他（ ）】
診 断 <input type="checkbox"/> アルコール依存症 <input type="checkbox"/> その他精神疾患（診断名 _____ ）	
<p><u>今後の方針</u></p> <p><input type="checkbox"/> 通院治療   回／週・月   <input type="checkbox"/> 入院（ / ）～（ ヶ月）   自院・他院（ ）</p> <p><input type="checkbox"/> 家族相談の継続   <input type="checkbox"/> 自助グループ紹介</p> <p><input type="checkbox"/> 介護支援サービス利用   <input type="checkbox"/> 障がい福祉サービス利用</p>	